

房前さん、高橋さんに最優秀賞

CVG
-2013

ヤーグランプリ(CVG)四国 の審査会と表彰式が7日、高松市内のホテルで開かれた。今回は9校の大学・高等専門学校から34件の応募があり、審査の結果、ビジネス部門最優秀賞四国経済連合会長賞が、大学の房前尊盛さんの「廃棄アマノリ再利用事業『Exhumining Porphyra』」、テクノロジー部門最優秀賞四国経済産業局長賞に新居浜工業高等専門学校の高橋浩一郎さんの「逆ミセル抽出法を用いたタンパク質の分離・精製プロセスの提案」がそれぞれ選ばれた。最優秀賞には賞状と賞金30万円が贈られた。ほかの受賞者にも賞状と賞金が贈られた。

新居浜工業高等専門学校



高橋 浩二郎さん

大量に処理が可能な分離方法である逆ミセル抽出法を利用した安価なタンパク質分離・精製装置を開発する特許を取得し、タンパク質分離・精製装置を開発する企業を委託した製造・販売や細胞破壊液から分離精製する作業が必要なうえ、それ用いるクロマト

逆ミセル抽出法を用いたタンパク質の提案

現在、世界のタンパク質医薬品市場の規模は500億ドル以上、国内でも市場規模は約100億円とされ、さらなる拡大が見込まれている。ただ、利用には培養液や細胞破壊液から分離精製する作業が必要なうえ、それ用いるクロマト

四国経済産業局長賞

最優秀賞

高知大学



房前 尊盛さん

商品価値がなく廃棄されたアマノリは産業廃棄物として処理され、廃棄には費用がかかりている。一方アワビの飼料の半額で売り出すことを目指す。また磯焼けの原因として捕獲・廃棄されている。アワビの商品化にも役立つ。

養殖過程で出る色落ちたアマノリは産業廃棄物として処理され、廃棄には費用がかかりている。一方アワビの飼料の半額で売り出すことを目指す。また磯焼けの原因として捕獲・廃棄されている。アワビの商品化にも役立つ。

そこで安価で大量に処理できる分離方法として、溶媒抽出法(液-液抽出)の一つである逆ミセル抽出法に注目した。逆ミセル抽出法

は界面活性剤と目的物質と

があればタンパク質の抽出が可能で、溶媒抽出のため

アマノリは独自に考案し多段型のミキサー・セトラー装置を開発する。現段階ではクロマトグライナーの

機能も備えており、さらに開発を進め、より効率的にタンパク質を製造し

たいと考える。

高橋 浩二郎さん

高橋 浩二郎さん